



霞帯春
空解

雲珠
間道

仁部
直道

糸屋
繪
守

大
橋
屋
金
兵衛

2378
290

卷之上



遠3特
2378
290

三亭春馬作
歌川國貞画

亥春新版全四冊

其
霞段無帶春空解
掛直流
山平年若上様

一 中使之男帯
一 緋博多桃綴子
一 金襴金糸織
一 野織

一 厚板

一 よう野織

義去訪がうの厚の
右の事あぐり外も念入仕入復別あひ度板元の江文更新
あひ帯比をとか桃ふらち任せ札の機本筆の儀あやこる
所通もあけまは獨案を又ふまをらじ花田乃帯比柳の
馬場その京織を織かかろ。園東鴻の尚世園序幕の端
うら織留の大詰まで四冊物織餘あく丁度つらふ山上下とね
あ二天漢き綴る二本緒又足大帯箱小綴ある大黒帯の程云
と登端代ハ新織氣を先より甲の序言を引れめくて
高らんの程を願ふふあん。
天保十亥年初春發市
三亭春馬識



古今意こ
あふりこころひのめいなるの目
あふりこころひのめいなるの目

あひやちゆうま
帯屋長右



古今吉原大全
あふりこころひのめいなるの目
あふりこころひのめいなるの目

あふりこころひのめいなるの目
宮川屋遊女岸の井

長左門継母

おとせ

禍福無門
唯人所招

左傳二曰



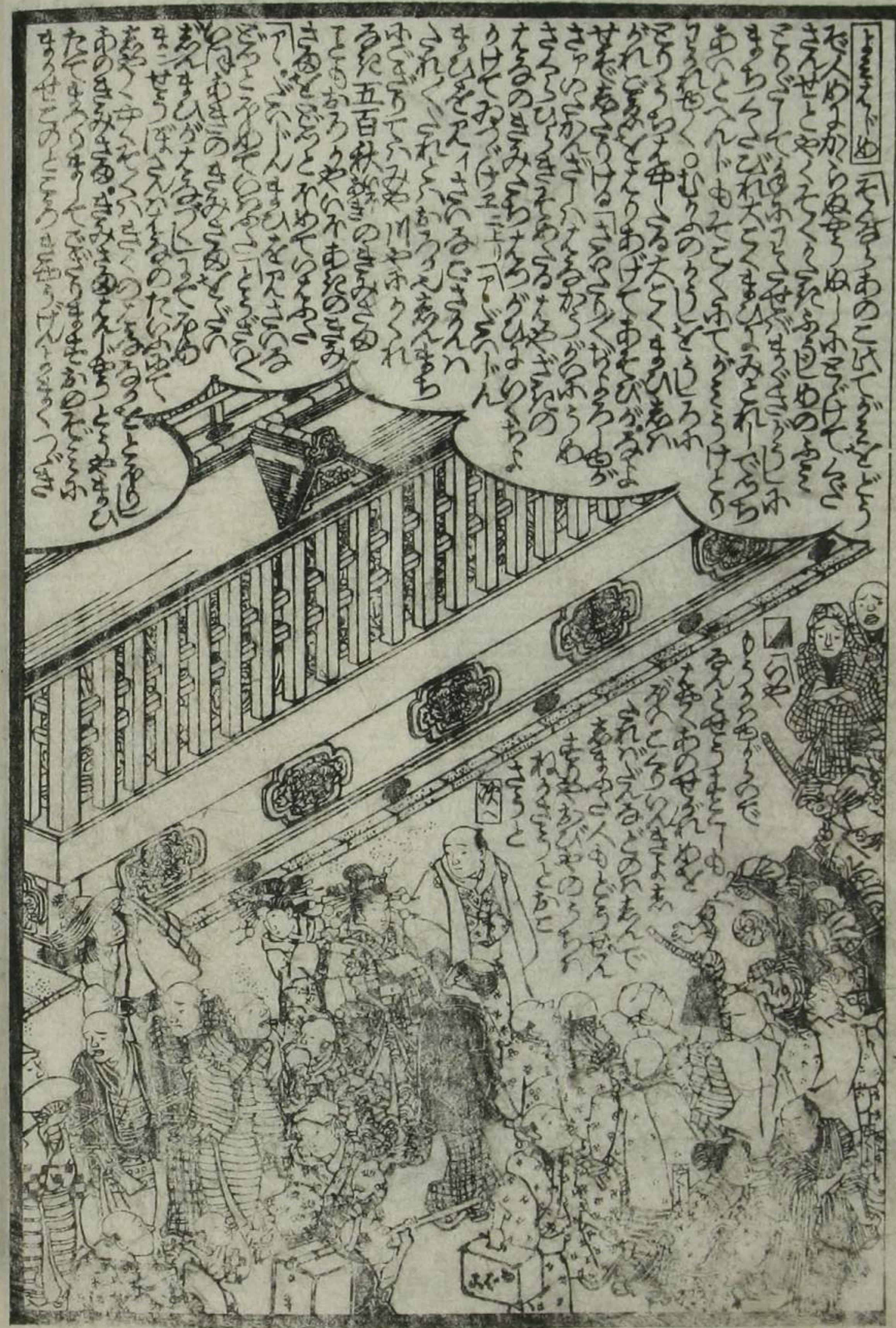
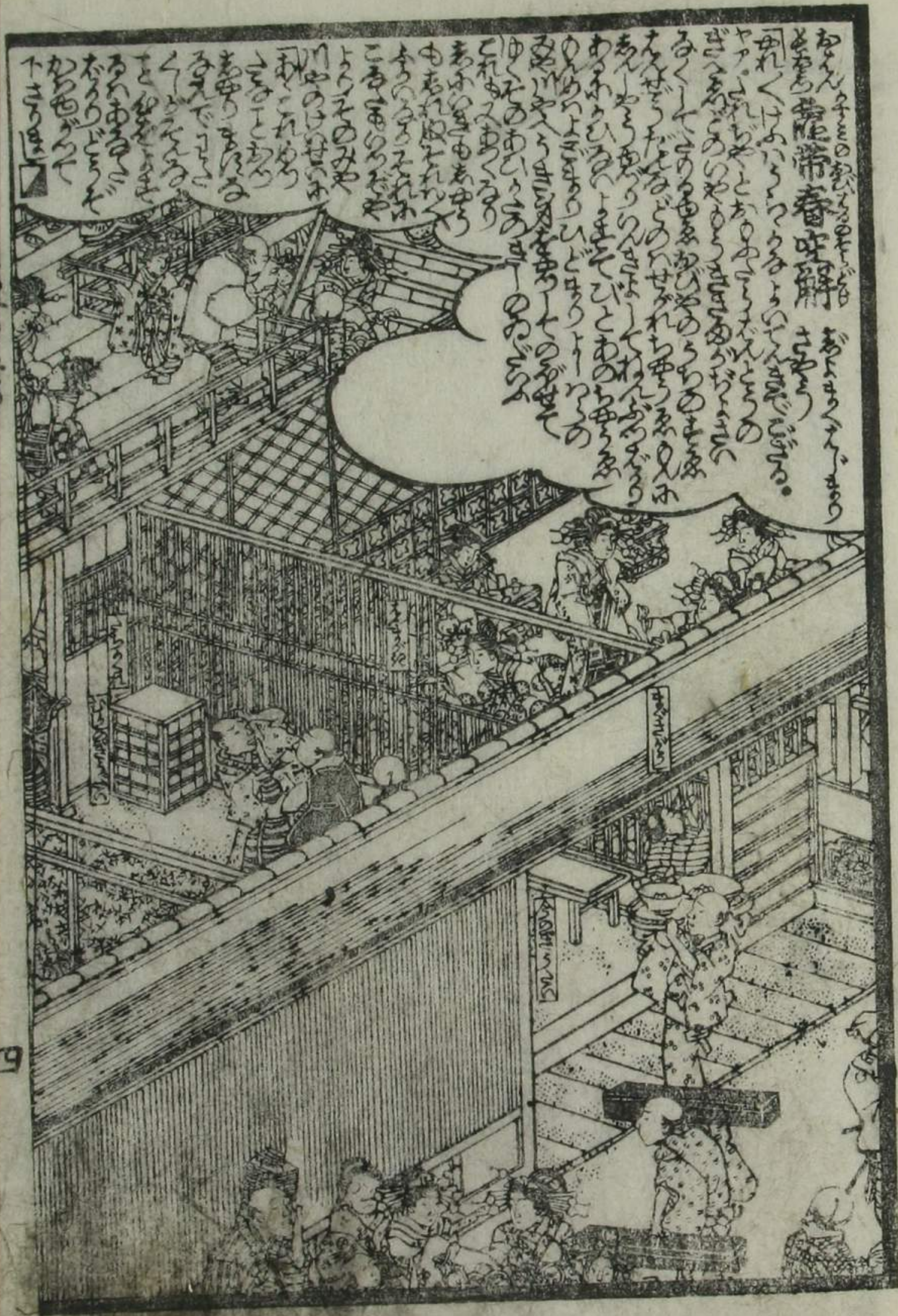
番頭
儀兵衛

古今意一
男の子を
おとし
おとし

文選君子行曰
凡田不納履
李下不正冠

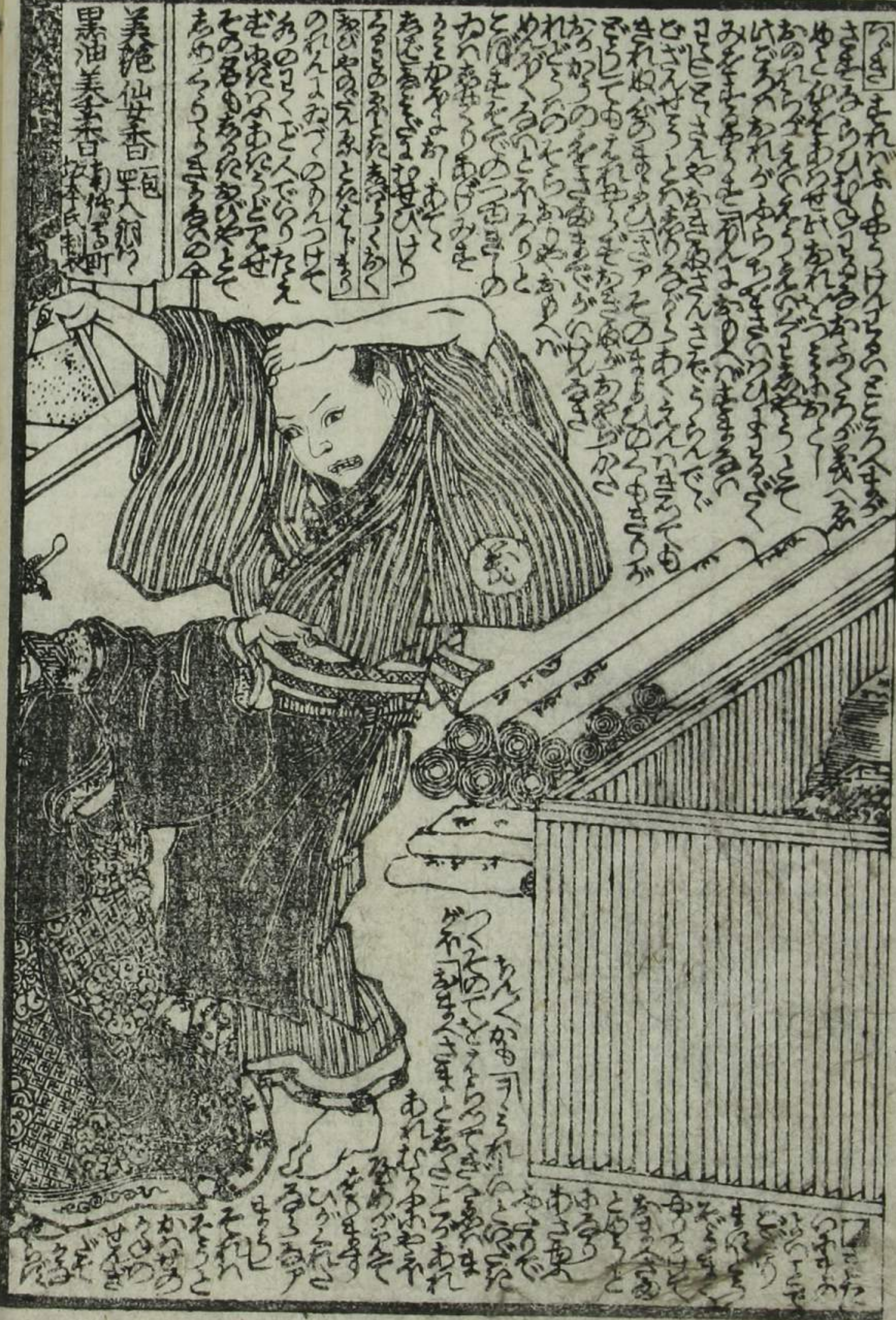


信濃屋娘
おとせ

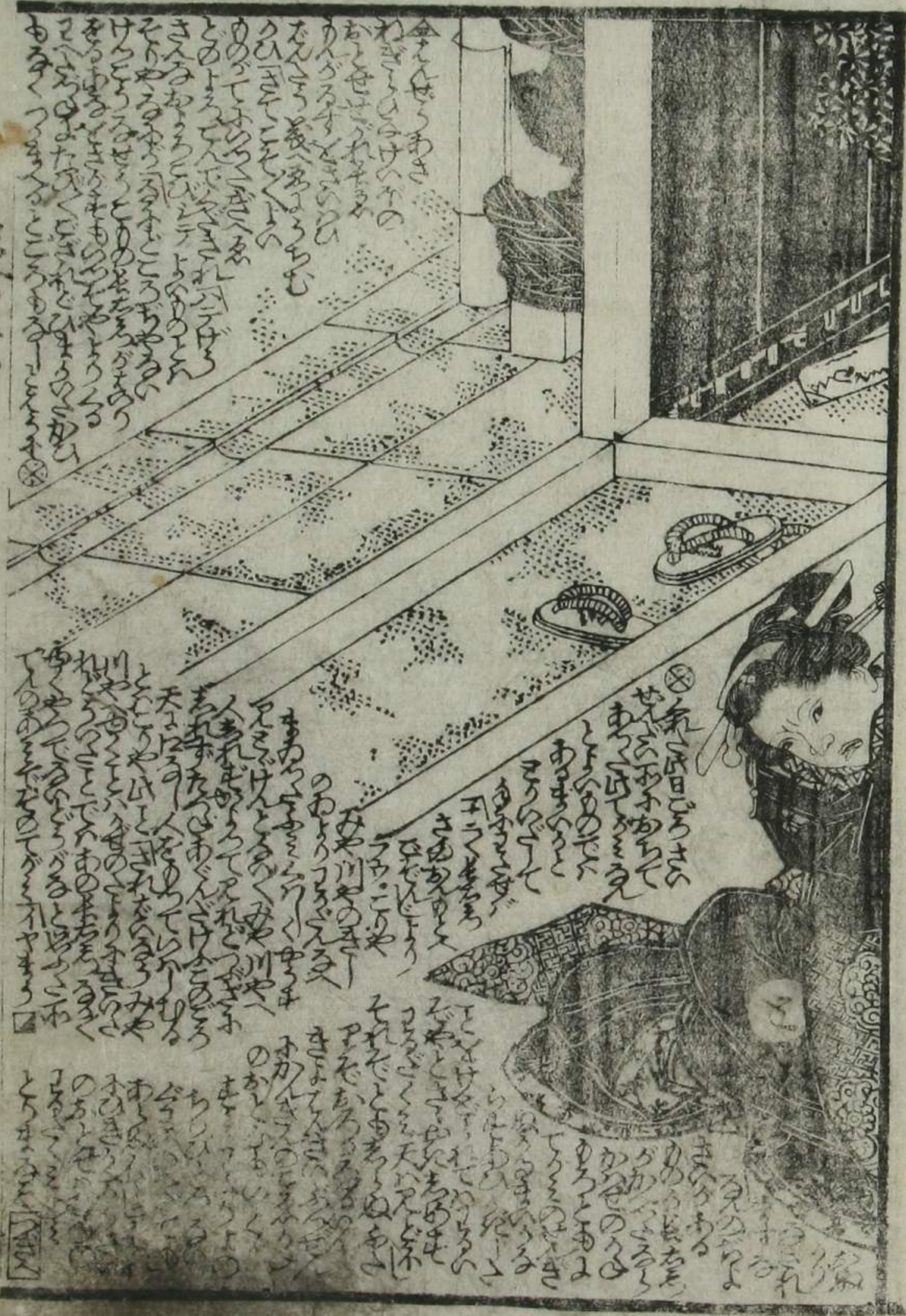








美艶仙香 巻八
 黒油美香 巻八
 美艶仙香 巻八
 黒油美香 巻八
 美艶仙香 巻八
 黒油美香 巻八



美艶仙香 巻八
 黒油美香 巻八
 美艶仙香 巻八
 黒油美香 巻八
 美艶仙香 巻八
 黒油美香 巻八
 美艶仙香 巻八
 黒油美香 巻八
 美艶仙香 巻八
 黒油美香 巻八







增補忠臣藏 全六冊

晋米齋玉粒編
一陽齋前豐國画

繪本千年山 全拾冊
北尾重政画

繪本武者鑑 全六冊

十返舎一九作
香蝶樓國貞画

花軍春錦繪 前篇六冊 後篇四冊

十返舎一九作
香蝶樓國貞画

昔舊在多土佐 全四冊

宝田十町選
歌川芳画

灸地本錦繪問屋 江戸町親仁橋角
山本平吉販



春馬作

國貞画

嵯峨
金襴



春馬作

國貞画

金剛
孺子



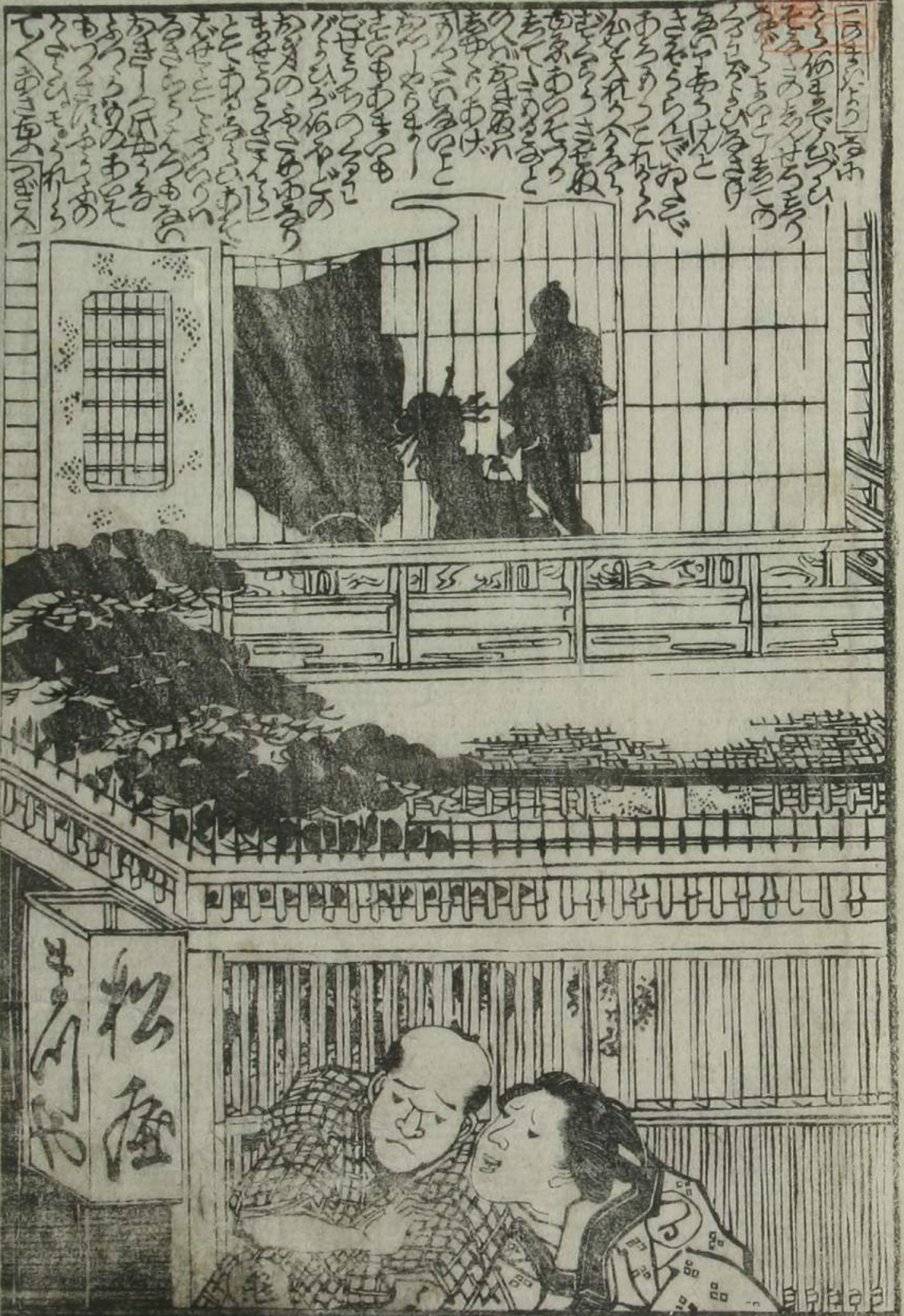
主田木
自道



吉野

山本
梓

卷之下



三
 此の巻は春新板
 香蝶樓國貞
 画花街樓
 春馬作
 榮久堂
 梓

香蝶樓

下之巻
 香蝶樓國貞
 画花街樓
 春馬作
 榮久堂
 梓

香蝶樓
 香蝶樓國貞
 画花街樓
 春馬作
 榮久堂
 梓

香蝶樓
 香蝶樓國貞
 画花街樓
 春馬作
 榮久堂
 梓

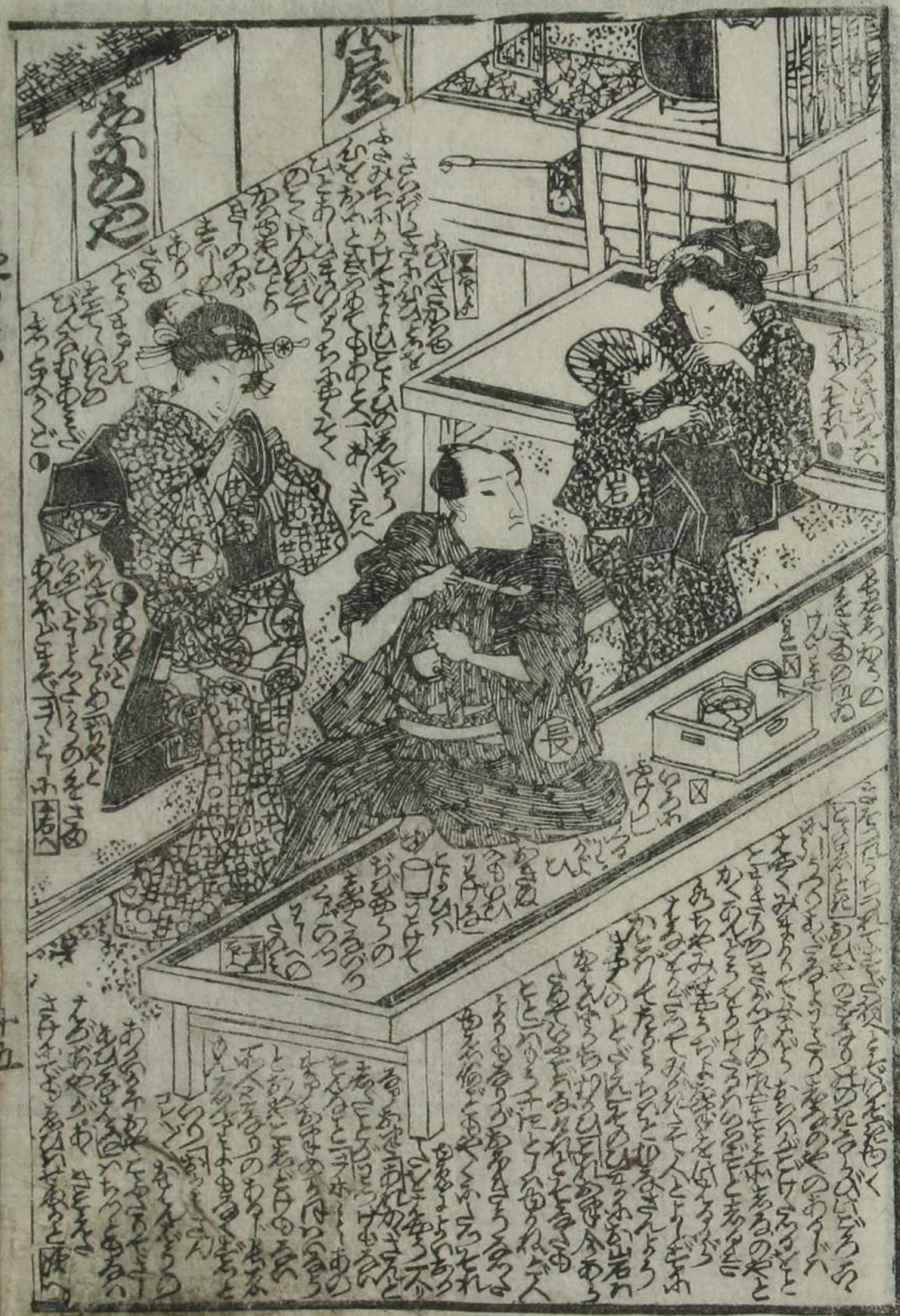
香蝶樓
 香蝶樓國貞
 画花街樓
 春馬作
 榮久堂
 梓



Handwritten Japanese text in kuzushiji style, arranged in several columns below the landscape illustration. The text appears to be a narrative or a collection of related phrases.



Handwritten Japanese text in kuzushiji style, located to the left of the woman's illustration. The text is arranged in vertical columns and appears to be a narrative or a collection of related phrases.





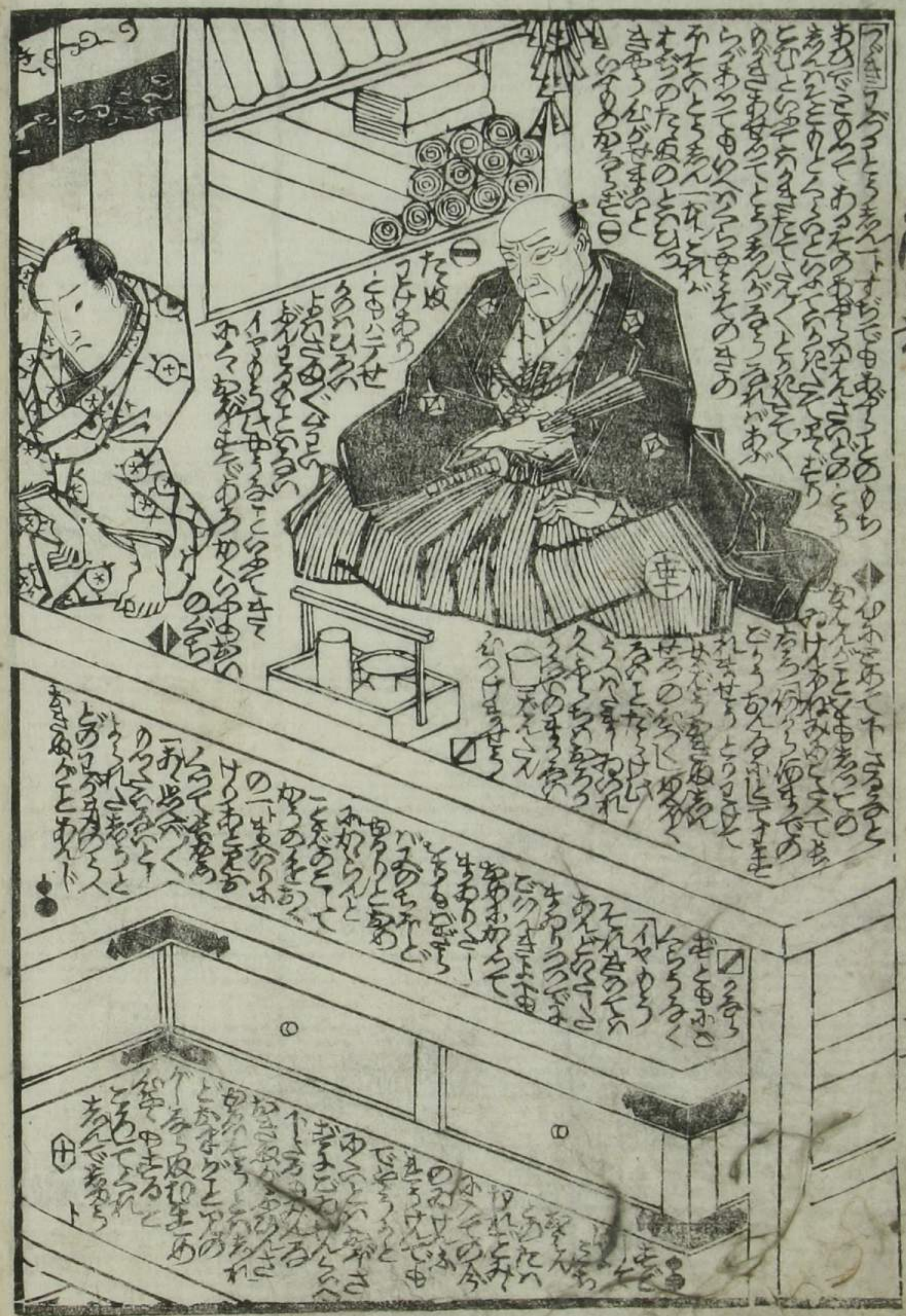


○

あつちのうらなひは
いづれかあつちの
あつちのうらなひは
いづれかあつちの
あつちのうらなひは
いづれかあつちの
あつちのうらなひは
いづれかあつちの

あつちのうらなひは
いづれかあつちの
あつちのうらなひは
いづれかあつちの
あつちのうらなひは
いづれかあつちの
あつちのうらなひは
いづれかあつちの

あつちのうらなひは
いづれかあつちの
あつちのうらなひは
いづれかあつちの
あつちのうらなひは
いづれかあつちの
あつちのうらなひは
いづれかあつちの



あつちのうらなひは
いづれかあつちの
あつちのうらなひは
いづれかあつちの
あつちのうらなひは
いづれかあつちの
あつちのうらなひは
いづれかあつちの

あつちのうらなひは
いづれかあつちの
あつちのうらなひは
いづれかあつちの
あつちのうらなひは
いづれかあつちの
あつちのうらなひは
いづれかあつちの

あつちのうらなひは
いづれかあつちの
あつちのうらなひは
いづれかあつちの
あつちのうらなひは
いづれかあつちの
あつちのうらなひは
いづれかあつちの

あつちのうらなひは
いづれかあつちの
あつちのうらなひは
いづれかあつちの
あつちのうらなひは
いづれかあつちの
あつちのうらなひは
いづれかあつちの



Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a chapter introduction or commentary. The text is dense and covers most of the lower half of the page.



Handwritten Japanese text in vertical columns, interspersed with the illustration. The text appears to be a narrative or commentary related to the scene depicted in the woodblock print.



天保十巳亥年孟春

菊壽童五編 全四冊
山東庵京山作
杏蝶樓國貞画

安達原筆操 全十冊
式亭小三馬作
杏蝶樓國貞画

霞帶春空解 全四冊
三亭春馬作
杏蝶樓國貞画

吉紫東顏見世 全六冊
五柳亭徳并作
杏蝶樓國貞画

隅田川月窓見 全六冊
式亭小三馬作
杏蝶樓國貞画

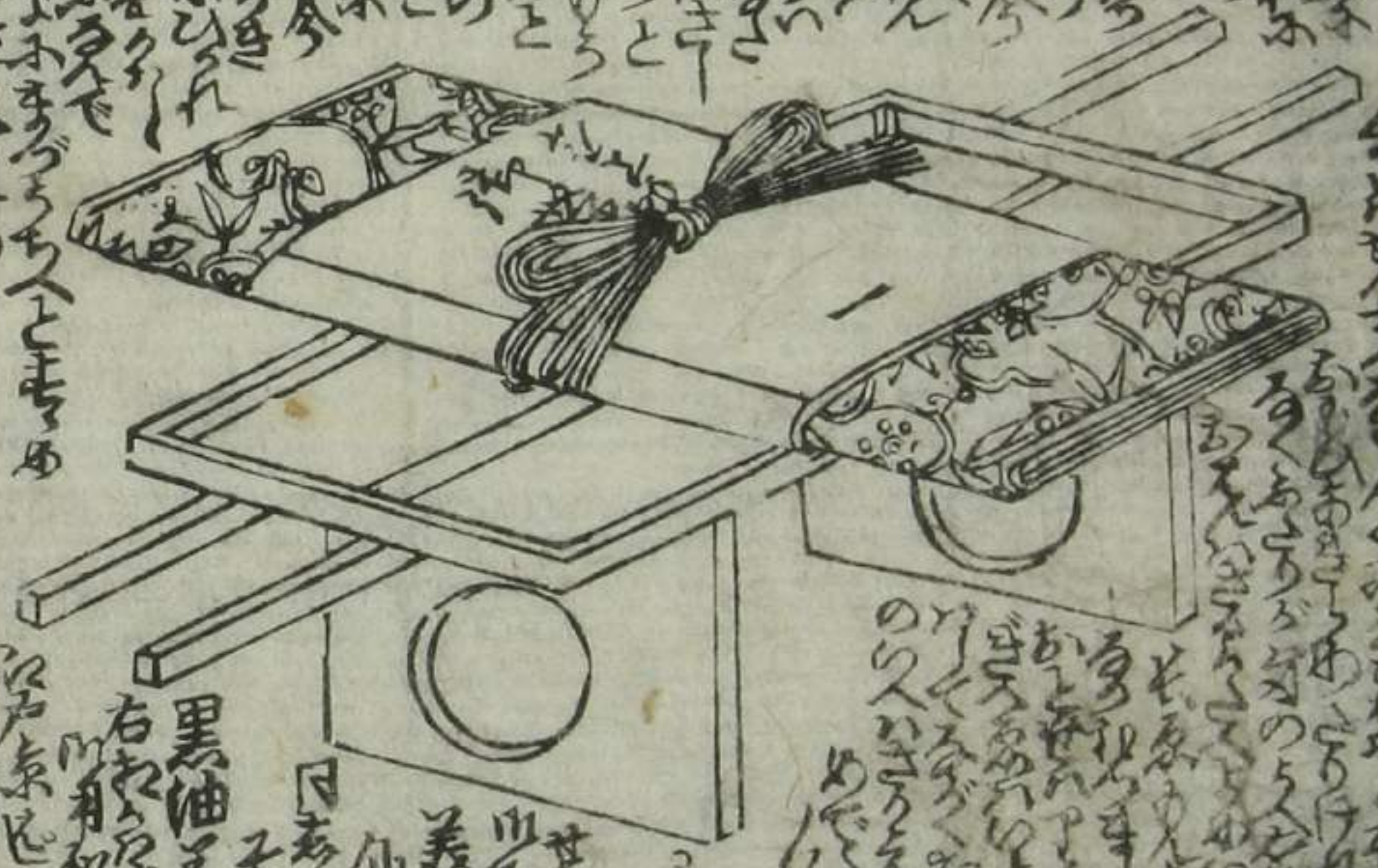
柳蔭古着新店 全四冊
五雲亭貞秀作
杏蝶樓國貞画

豐歲武都英 全四冊
手前翰喜作
杏蝶樓國貞画

能優樂屋雜談 全四冊
江都の部越後の怪
杏蝶樓國貞画

地本問屋 深久堂
江戸町親仁橋角

此の巻は、天保十巳亥年の春、京山庵の菊壽童五編、安達原筆操、霞帶春空解、吉紫東顏見世、隅田川月窓見、柳蔭古着新店、豐歲武都英、能優樂屋雜談、地本問屋、深久堂の各書が、杏蝶樓國貞画の挿絵で、式亭小三馬作の筆で、全四冊、全十冊、全四冊、全六冊、全六冊、全四冊、全四冊、全四冊、全四冊、全四冊の各書が、この巻に収録されている。...



此の挿絵は、杏蝶樓國貞画の筆で、式亭小三馬作の筆で、全四冊、全十冊、全四冊、全六冊、全六冊、全四冊、全四冊、全四冊、全四冊、全四冊の各書が、この巻に収録されている。...

三亭春馬作 國貞画

